

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2020年5月24日

## 検査や医療提供体制充実など 命と健康を守れ

予防対策や検査体制、医療・公衆衛生の充実等、命と健康を守る課題については、同僚の蔵田共子議員から質問、井上議員と2人で分担しました。

- 民間任せにせず、自身が相談相手になる仕組みを（今は、商工会議所とか社会福祉協議会、銀行、委託会社など民間ばかり）。
- 外国人観光客頼みではなく、国民の購買力向上による消費拡大と製造業・商業の売上げアップを。
- 弱肉強食、強い者勝

- ち、官から民へ、大企業の海外進出・国内産業空洞化ではなく、地産地消、地域循環の経済、中小企業・零細事業者底上げへの経済政策へ。
- 政府の大企業・富裕層減税が自治体の減収に直結している。コロナ対策の財源ねん出の為に、国の税財政政

## これまでの市政のあり方が問われている

- 10万円の給付金の支給を急げ。高齢者など、申し込みの方法が分かりにくい場合の相談体制を。DV被害者、施設や病院に入所入院中の人たち、家のない人たちなどにも行き渡るよう、万全の準備を。
- 国の持続化給付金や府・市の各制度など、

- 50%以上の減少が条件など、ハードルが高い。市の制度は申し込み期間が短すぎる。半減までは至らなくても売上げの減少自体を補填するなど、制度を簡素化すること。
- 大企業の内部留保金

- の活用や、融資条件緩和・返済条件変更など大手銀行の社会的役割発揮を求めること。
- 休業手当や雇用調整助成金の活用など、事業所と労働者への支援策強化を。
- 家賃など固定費への支援を。売上げ減少でも家賃は定額。店子も家主も、どちらも大変。

## 新型コロナウイルスの被害から、暮らしと営業を守れ

22日、市議会本会議にて、井上けんじ議員が党議員団を代表して質問、市長の姿勢を質しました。主な質問項目を（このニュースの作成日が22日より前なので、答弁は次号にて）紹介します。

## 給付金の支給を急げ 固定費など直接補填・支援を

策への批判が必要だ。この姿勢抜きに、市民に「財政危機」を強調すべきではない。



穴が空いて道の下が空洞に。漏水で土が流されていたことが判明。改修工事が実現（唐橋学区）。



## 最近の相談から



● 祇園でスナックをやっているが、現在は閉店中。夜が、昼に比べ感染の可能性が高いかのような言い方はやめてもらいたい。再開したらまた飲みに来てください（宣伝中、声を掛けて頂きました）。

● 10万円給付金の申込みは、単身者でも身分証明書が要るのか。返信用の封筒は？（井上議員回答）単身者でも要ります。介護保険証など。封筒は返信用が同封されています。振込んでもらう銀行の通帳記号番号を書いて返送します。「希

● 望まない」の欄は絶対にチェックしないこと。不安な方は、送られてきた時に井上議員までお気軽に連絡を。

● タクシー労働者。会社によって①リース制と②歩合制がある。①は、売上げからリース代と経費などを差引いた残りが手取り。②は売上げを、会社と例えば折半する。いずれにしても今は売上げ激減で最低賃金も下回っている現状。

● 葬儀社勤務。高齢化社会で不況知らずのハズだが、家族葬等、つましやかにされておられ、お葬式も小規模に。私たちが休暇を取りながらの勤務で十分に回っている。

● 向日町競輪の売店で働いているが、中止・閉鎖中だから私たちが閉店中。